

令和5年11月24日  
滋賀県信用組合

### 第13回 経営諮問会議の概要について

当組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者で構成される「経営諮問会議」を設置しております。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第13回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

#### 記

1. 開催日 令和5年8月9日（水）

2. 場所 琵琶湖ホテル

3. 出席者

（経営諮問委員）〈順不同、敬称略〉

鳥居 直隆 （滋賀県民信用組合 元副理事長）

藤田 義嗣 （一般社団法人 滋賀経済産業協会 相談役）

片山 聡 （オアシス法律事務所 弁護士）

（滋賀県信用組合）

青木 和夫 （理事長）

鈴木 直人 （常務理事）

佐々木 勝之 （常務理事）

金子 聡 （常務理事）

松田 浩一 （常勤理事）

寺田 充 （常勤監事）

#### 4. 青木理事長挨拶要旨

令和4年度の業績も順調に推移しており、貸出金残高で22億円、平残で25億円増加することが出来ました。事業性並びに消費者金融、住宅ローン等で増強し、第3次経営強化計画の最終年度に相応しい結果となったと考えております。預金についても個人預金でやや苦戦しているものの、残高で84億円、平残で27億円増加しています。収益面では、余資運用益が減少したものの貸出金利息が前期比+36百万円、役務収益でビジネスマッチングや不動産関連手数料の増強に取り組んだことから前期比+16百万円と、資金利益は前期比+19百万円となりました。経費では、人件費・物件費ともに減少しており、合わせて前期比△55百万円となり、コア業務純益は前期比81百万円増加の329百万円を計上し、計画を133百万円上回る事が出来ました。推進面では、ビジネスマッチングフィーが前期5百万円から10百万円に増加しております。

今期についても7月末時点で、貸出金は3億円増加しており、PJ融資や収益物件等の販売が順調で、甲賀・湖南市では工業団地中心に、甲賀市では運送業の倉庫や工場移転のニーズも盛んになっています。住宅ローンも10億円増加しています。また、今期のもう一つの重点目標である非金利収入の増強に向け、引き続き不動産関連の手数料やビジネスマッチングに力を入れて取り組んでまいります。

本日は、今後の3か年の経営強化計画について、積極的なご意見賜りたく、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

#### 5. 当組合からの説明内容

佐々木常務理事より以下の内容について説明いたしました。

- ・令和4年度決算概況
- ・経営強化計画の進捗状況

#### 4. 意見交換要旨

(1) 出席委員の皆様から以下のご意見、ご提言をいただきました。

- ・ 支援により企業が生き残り、再起しながら地域貢献できるようになれば大変素晴らしいことである。サービス業でも、考え方を今の時代に合わせるようにサービスの仕組等を変えていけるよう融資を続けながら指導し、生産性の向上に伴って、サービス業が新しい時代に入っていく。
- ・ プロパー職員が執行役員まで成長していけるといのは、職員の希望であり、良いことだと思う。張り合いが出るようになれば、プロパー職員の成長にも期待できるのではないか。
- ・ 信用組合の8割でどんどん人が減って人件費も減少している。業界全体の問題であり、何か手を打たないといけない。
- ・ 将来どういう計算をしても収支が合わない店舗が出れば、そういった店を閉め、そこから人を生み出すといった決断も考えないといけないのではない

か。また、店の近くに出店している店外ATMも対応を検討していく必要があるのではないか。

- 預金の吸収は当然大事だが、キャンペーンで一般的に集められている100万円以下の部分を注力して集めた方が流動性リスク管理の面では良いのではないか。
- 人を集めるのが難しいと言う話もあったが、組織構成、世代バランスがどうなっているのか心配される場所。その辺りは手当していただけたらと思う。
- 小規模事業者の方の中には、自分の利益がどう生まれているかをよく理解していない方もいる。利益がどう出ているか、どこが損しているかといった分析をされていない、原価計算等が上手く出来ていない先もたくさんあると思うので、そういった先の経営指導をしていくのも地域金融機関の一つの武器になるのではないか。
- 地域を守っていくというのは非常に大事な事。不確実性の高い社会で、何が起ころうともおかしくない。とにかくアンテナを高く上げて、出来るだけ姿勢を低くして、そして、何が起きても対応できるように、いざという時に頼りになる体制を敷いていくのが大事である。

## (2) 青木理事長からの回答

貴重なご提言を頂きまして、ありがとうございます。

頂いたご意見は対応可能なものから順次進めてまいりたいと思います。

今後ともご支援ご指導宜しくお願い申し上げまして、お礼に代えさせて頂きたいと思います。

以上